

事業報告

令和3年度 第3回 大分県立図書館文化講演会兼大分県公立図書館等職員研修会

日時：令和3年11月3日（水） 13:30～15:05

会場：大分県立図書館 視聴覚ホール 参加者：57名 うち研修会参加者22名

<研修趣旨>

生涯学習のキーステーションとして、県民に、本や読書についての学習機会を提供するとともに、県民の読書推進の気運の醸成を図ることを目指す。また、公立図書館等の職員に対しては、郷土について理解を深める研修機会を提供することにより、図書館サービスの向上を図る。

<研修内容>

【講演会】 「共生時代 ～No Charity, but a Chance!～」
社会福祉法人太陽の家 理事長 山下 達夫 氏

○自己紹介

- 東京パラリンピック開催（1964年）
- 社会福祉法人 太陽の家 設立 1965年
- 障がいのある人の雇用の実態
- 海や山に囲まれた自然豊かな大分県 別府 ～バリアフリーな町～
- 障害のある人の生活 車の運転 トイレ等
- あたりまえの社会をつくるための条件
 - 1.日々の暮らしの基盤づくり
 - 2.住みよい環境の基盤づくり
 - 3.社会へ向けた自立の基盤づくり
 - 4.相互の理解と交流
- まとめ 共生社会とは <相互の理解>



<参加者感想>

- ◇自分にも出来そうな気がしてきました。
- ◇障害を持つ方と共に生きられる社会を今から考えていく良いきっかけになった
- ◇別府在住だが、太陽の家の詳細を知らなかった。とても勉強になった。
- ◇相互理解の大切さを学ぶ機会になった
- ◇障害を持つ方からの視点を知ることが出来た
- ◇太陽の家が、「保護」ではなく「自立」するための場所であることがよくわかった
- ◇とても分かりやすかった
- ◇自身の心構えを見直すきっかけとなった。